



# — 児童労働のない未来へ — Annual Report

2022.09  
▼  
2023.08

## 数字で見る ACE 2022 年度

児童労働撤廃をめざすACEの活動を支えていただき、誠にありがとうございます。  
まずは2022年度の活動を数字で見てみましょう。

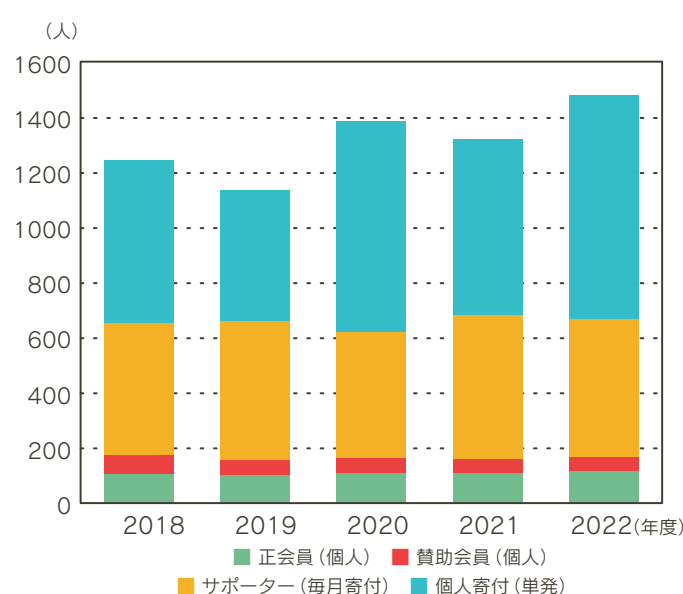
### 個人でのご支援

1,654人

個人会員（正会員、賛助会員）	172人
子どもの権利サポーター	498人
個人寄付	811人
オンラインショップ利用者	173人

2022年度のACEの活動に個人としてご支援いただいた人数。ACEの会員やサポーターとして継続的に活動を支えてくださる方々をはじめ、クラウドファンディングなどを通じてご寄付をいただいた方々、チョコレートやコットンなどの取り組みに賛同してご寄付をいただいた方々、ACEのめざしている世界がとにかく好き！と支えてくださる方々。これまでに、のべ1万人以上の方々からご支援をいただきました。

### 個人支援者の推移



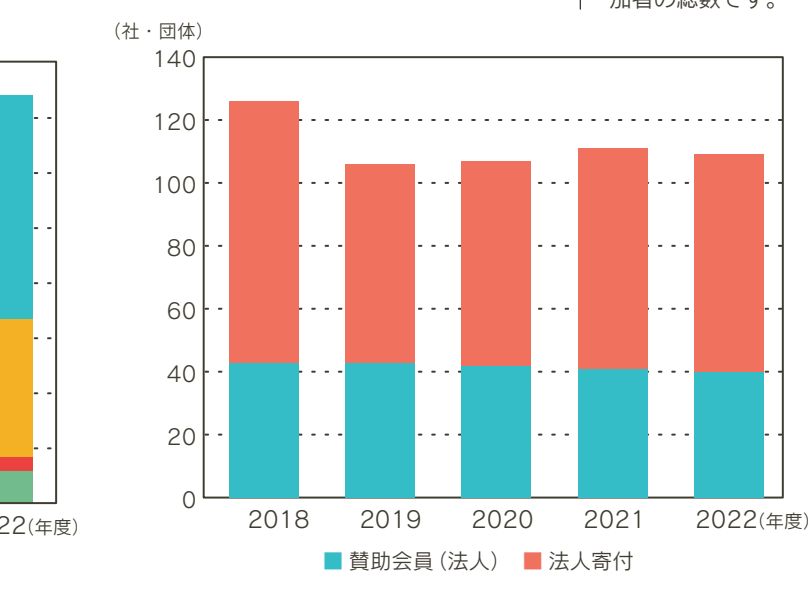
### 法人としてのご支援

109社・団体

法人賛助会員	40社・団体
法人寄付	69社・団体

NGOという企業からは敵とみなされてきたこともありましたが、でもACEは、企業を攻撃するよりも、企業と一緒に取り組むことで、企業とNGOでの連携だからこそ実現できるような児童労働をなくすための具体的な策を講じ、より大きなインパクトの創出ができるはず！と信じてこれまで活動してきました。対話を通じて少しずつ連携を進め、今では法人会員が40社になりました。法人からのご寄付は69社に上ります。

### 法人支援の推移

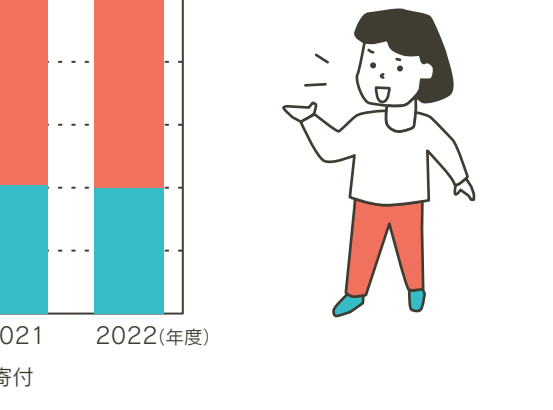


### 伝えた人数

約34,000人

講師派遣	5,592人
X (旧Twitter) フォロワー	7,109人
facebook	8,726人
Instagram	1,482人
メルマガ	9,117人
イベント	1,201人
映画「バレンタイン〜揆」上映会	378人

児童労働の無い世界を実現する第一歩は、まず知ってもらうこと。ACEはその想いから設立されました。約34,000人は、2022年度に児童労働について伝えた人数です。講演や出前授業などの受講者、SNSのフォロワー、メルマガの購読者、主催・共催イベント計23回への参加者、映画「バレンタイン〜揆」自主上映会参加者の総数です。

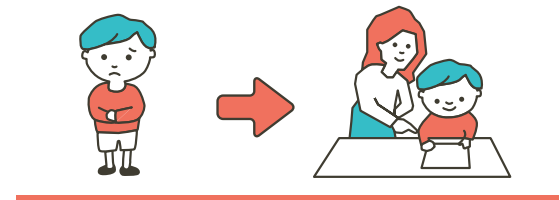


### 児童労働から解放した子ども

2,645人

\*2023年8月末時点

日本で児童労働の問題を伝えることと同時に、もちろん現地での支援も欠かせません。ACEでは、ガーナのカカオ産とインドのコットン産という、日本人とつながりの深いエリアを対象にしたプロジェクトを行っています。プロジェクトの開始からこれまでにインドとガーナの30村で、2,645人の子どもを児童労働から救い、約1万3,600人の教育を支援してきました。



### ネットワークを通して実施したイベント等への参加者

3,664人

ACEが事務局を務める「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」では、日本における子どもの権利の普及・実現に向けた啓発活動や政策提言活動を行っています。2022年度は主に子ども基本法に関連したイベントやセミナー、SNSのキャンペーンを実施し、子どもからおとなまで1,494人の参加がありました。「児童労働ネットワーク」では「児童労働と子どもの権利」をテーマに6月にキャンペーンを実施し、SNSを中心に発信を行いました。レッドカードアクションとオンラインイベントには2,170人が参加しました。

### 沖縄での子どもの権利に関する研修・イベントの参加者

189人

\*2022年12月～2023年11月

「子どもは権利をもつ主体である」という認識を広げるため、沖縄県でのプロジェクトを開始しました。子ども・若者や、子どもを支援する人たち、学校関係者などを対象に、子どもの権利への理解を深める研修やイベントを沖縄のNPOと協働で実施しています。

### 日本の児童労働予防・撤廃のための啓発資料配布

約16,100部

\*2018年9月からの累計

日本にもある児童労働を予防・撤廃するために、3種類の啓発資料と啓発資料を紹介するカードを作成、普及しています。中学生向け「知ってる？働く人を守るルール」、高校生向け「あなたのアルバイトは、だいじょうぶ？」、おとな向け「あなたの職場で、年少者の労働環境が守られていますか？」を沖縄県を中心に全国の中学校、高校、少年院、フリースクール、児童館などに配布しています。

\*ACEでは2022年9月から2023年8月を2022年度として活動してきました。この年次報告書では、この期間の活動を中心に報告しています。しかしながら、単年度の活動だけを切り取っても逆にわかりにくい場合もありますので、背景の説明なども含めて「最近のACE」の活動としてご報告いたします。

## 世界の力を解き放つ - 子どもたちに自由の力を。すべての人に変革の力を -

～25年の振り返りと新パーパスへの想い～ ACE 代表 岩附由香



東京でのグローバルマーチは渋谷で開催。スタート直前の集会の様子

1997年ACE設立時に私が作った趣意書には、こうある。「ACEは子ども労働に関するinformation service (情報提供)、awareness-raising (意識啓発) を目的とする団体であり、働く子どもやその支援をしているNGOを援助するものではない」そう、実はACEは6か月限定の「児童労働に反対するグローバルマーチ」を日本でも開催するためだけに設立されたNGOだったのだ。そんな始まりの旅路が25年を迎え、2023年新パーパスを再発見（パーパスは作るものではなく、発見するものさうだ）した。25年を少し振り返りつつ、新しいパーパスに込められた想いをここでご紹介したい。

設立当時大学院生だった私が現副代表の白木・小林に会ったのが1997年の夏。私がボランティアをしていた国際子ども権利センターの学習会に明治学院大学の田部・ヤングゼミのメンバーが参加したのがきっかけだ。その後、グローバルマーチを日本でもやりたい！団体を立ち上げよう！と決意した私は、仲間を探そう。当時はまだ携帯電話は普及しておらず、手帳の後ろにあったアドレス帳を「誰と一緒にやってくれるだろう」とバラバラめくり目に留まった白木の自宅に電話をかけ、「いいよ」と白木が返事したことからACEは始まった。

1998年3月にインドのマーチに3人で参加し、5月には大阪、東京でマーチを開催。人づてに色々な人が協力してくれ、自分たちが動くことにならざるを得ない人たちがいるんだという興奮が冷めやらず、6か月限定のはずが細々と続け、転機が訪れたのが2001年。留学や就職でバラバラになっていたメンバーがまた東京に集まった。「もう一度ちゃんとやろう」とメルマガの発行を開始（今発行しているメルマガもその連番が続いている）した直後、インドのグ

ローバルマーチ事務所から「日本・韓国主催のサッカーワールドカップにあわせて、記者会見を日本でやりたい。2週間後にサッカーボールを縫っていた子どもとカイラシュ（グローバルマーチ創設者）が行きます」との連絡が入り、それぞれの仕事の都合をつけながら記者会見を開催。その後、サッカーボールのキャンペーンを1年半実施し、メディアや一般市民からの問い合わせの増加を受けて「きちんとNPO法人化して活動を続けられるようにしよう」と2005年にNPO法人化、白木が仕事を辞めて初めての有給職員となった。



2001年5月に開催したワールドカップキャンペーンの記者会見には、インドからグローバルマーチ代表のカイラシュ・サティヤルティさんと、サッカーボール縫いをしていたソニアさんが来日し、想いを語ってくれた。

当時の定款には、組織の目的が2つある。1つ目は「啓発・開発教育を通じて行動する市民を育成すること」、2つ目は「児童労働者やその他困難な状況に置かれている子どもたちの救済、回復および児童労働の予防を目的として、子どもを含む市民や他団体との協働や国際協力活動を行い、子どもの権利が保障され、すべての子どもが希望を持って安心して暮らせる社会を実現すること」。1つ目は設立当初からの流れであり、2つ目はサッカーワールドカップキャンペーンを機に、インドでの支援活動を開始したことを受けたものである。インドのNGOが行っている活動を財政

ディツアーも開始。2012年頃まで行っていたインド・スタディーツアーは、その参加者がACEのスタッフになるなど、担い手を増やす役割も果たした。



2005年に初めて開催したスタディーツアー。その後2012年まで続いた。

ACEが当時支援していたインドのパートナー NGOの「子どもにやさしい村」プロジェクトは、村単位で活動し数年間かけて児童労働をなくしていく。このエリアベース・アプローチは、その後ACE自身で立ち上げたプロジェクトの原型となった。子どもたちの声を村の自治に反映させるための子ども議会の結成など、子どもの声の反映や子どもが参加する要素も一部引き継がれていく。

こうしてインドで児童労働をしている子ども・家族の支援プロジェクトをスタートさせたACEだったが、児童労働の撤廃に向けた国際協力事業の展開方針を、ガーナのカカオ産、インドのコットン産に焦点をあてていくことを2006年に決定する。それぞれ現地調査を行い、新たなパートナー組織を見つけ、共にプロジェクトを立案し、実施を委任するという形になり、学用品支援・家庭の収入向上・職業訓練などの要素が加わった。

カカオ・コットンの2つの活動の柱にそって、啓発のための教材開発にも力を入れた。学校で先生がファシリテーターとなって参加型のワークショップができるように、ワークショップ教材をつくり、消費者啓発の賞をいただくなど反響もあり、今でも販売を続けている。書籍や2012年に制作した映画「バレンタイン〜揆」も、その後も長く多くの方に活用され続けている。



「おいしいチョコレートの真実」ワークショップ風景

消費者となる市民に伝え現地で支援をするという形に、企業というアクターが加わりはじまったのが2011年からだ。森永製菓株式会社チョコレートの売り上げから寄付をいただく、「1チョコレート1スマイ

ル」のパートナー組織に選ばれ、市民が普段行く店頭で売っている商品を買うことで課題解決に貢献できる仕組みができた。その後ACE支援地でもれたカカオを使ったチョコレート商品の販売も相次ぎ、児童労働という社会課題の解決に多くの関係者が参加できるモデルができあがっていく。

2017年にはそれまで使っていたミッションステートメント「市民と共に行動し、児童労働の撤廃と予防に取り組みます」をパーパスに改めた。そのパーパスとは「子ども・若者が自らの意志で人生や社会を築ける世界をつくるために、子ども・若者の権利を奪う社会課題を解決します」というものだ。それまでであった「児童労働」という言葉をなくした背景には、ACEの活動が既に「児童労働」の枠を超えた社会課題にアプローチしはじめており、限定されることへの窮乏さを感じていたからだった。

そのパーパスのもと、ACEは国内の子どもの権利の課題にも本腰を入れはじめる。2019年には「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」を立ち上げ、子ども基本法への政策提言、社会への発信等を全国200以上の市民団体と共に展開していくことになった。その間ガーナ政府との「児童労働フリーゾーン（CLFZ）」認定制度（\*）に関する協働も進み、ガイドラインを策定するサポートを行った。JICA（国際協力機構）の調査事業を通じて、ACEがスマイル・ガーナプロジェクトで培ったノウハウを他地域へも展開していくための礎を築き、2024年からはそれをさらに発展させていくための事業がスタートした。

今回、更にパーパスを変えることになったきっかけは、2022年夏のACE戦略会議でボロリと出てきた「パーパスの文言の後半部分を変えたい」との白木の一言だった。折しもACEは「ボスはパーパス」が合言葉の自己組織化組織をめざすべく、研修をはじめ、新しい意思決定の仕組みを導入しようとしていたところだった。正直気が重かったが、パーパスの言葉もつエネルギーが、組織全体に影響する仕組みにしていく以上、向き合わなくてはならないと覚悟を決め、パーパス再発見のプロセスに長けた理事の力を借りて、2023年1月から新しいパーパス再発見の旅を始めた。ワークショップを重ね、過去を振り返り、それぞれのスタッフの経験から組織の強みを見出し、外部の方々へのインタビューから世界の根源的なニーズを確認しながら、「価値として共有されているけれど言語化されていない部分」を言語化していくことに努めた。最終的にはコピーライターの方の力を借りて、再発見されたのが新パーパス「世界の力を解き放つ - 子どもたちに自由の力を。すべての人に変革の力を-」だ。



パーパス再発見の過程で「ACEの未来を予想」を新聞記事スタイルで作成するワークショップを開催。各グループの内容はそれぞれ違いますが、エッセンスが似ているところがある。

パーパス再発見の中で、ACEが子どものための組織であることは再確認していたが、ACEの特徴である、関係者の力を引き出し、行動の変化につなげてきた部分をどう表現するか、という悩みポイントがあった。「チカラを集める」「つながる」「結ぶ」等の表現が候補出てきたが、最終的に「世界の力を解き放つ」というかなりパワフルな表現になったことは、パーパスの文言を決める際「言葉そのものからエネルギーを感じるかどうか」を大切に結果だ。「自由の力」とは、子どもたちが生まれながら持っている無限の可能性であり、「変革の力」とは誰の中にもある。未来をより良い方向へ変えていくエネルギー。それをもって、さまざまな個人や組織と共に、子どもたちの自由と尊厳が輝く未来への扉を開いていく、そんなイメージを持っていただけたらありがたい。

新パーパスと同時に、事業も新しい事業や展開が生み出されやすい事業区分に再編した。ACEのフィロソフィー、WAYは変わらず、WAYは新しい人事制度の評価項目に落とし込まれ、職員活動指針となっている。こうした組織の理念は一度決めて終わりではなく、それをどう生きたものができるか、にかかっている。私たちはこれから、自分たち自身も変化しながら、このパーパスのもとで活動を続けていく。

(\*）「児童労働フリーゾーン（CLFZ）」認定制度  
児童労働の予防と解決のための仕組みが整っている地域を「児童労働フリーゾーン」（児童労働のない地域）として国が認定し、その地域を国全体に広げることで児童労働の撤廃をめざす、ガーナ政府が導入を進めている制度。







# ごあいさつ



**変革の力を解き放つ**  
ACE 代表 / 共同創業者  
岩附由香

2022年度も多数の個人・法人のみならず皆様からご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度の活動で個人的に思い出深いのは2023年4月に倉敷で行われたG7労働雇用大臣会合に市民社会組織を代表して参加する機会に恵まれ、労働組合代表との共同声明を出すなどのアドボカシー活動を通じ長年働きかけてきた日本政府のアライアンス 8.7 (Alliance 8.7: 児童労働・強制労働撤廃のためのグローバルパートナーシップ)への参加が実現したことです。SDGsに掲げられた児童労働撤廃の期限が2025年に迫る中、日本政府の取り組み促進につながることを祈っています。ACEはこれからも、組織・個人が持つ自身の「変革の力」に気づいてもらい、その力を解き放つことで、児童労働の撤廃、子どもの権利推進を進めていきます。引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。



**よりよい世界のために  
人の力を活かしていきたい**  
ACE 副代表 / 共同創業者  
白木朋子

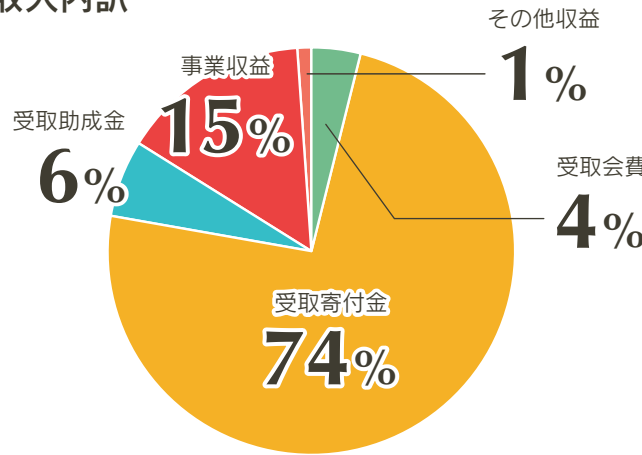
いつも温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。日本においては、企業行動と人権や倫理、子どもの権利に関わる問題が多数浮き彫りになり、今まで見過ごされてきたことが意識化された1年だったように思います。不安定な世界情勢が続く中、ACEとしてのパーパス(団体の存在目的・存在意義)は何かを、これまでの25年の歩みを振り返りつつ再発見する1年でもありました。自分たちが願う世界を形にしたいために、人類が持つ潜在的な力がよい方向に発揮されるよう、ACEだからできることを引き続き追求していきたいと思っております。ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 2022年度会計報告ハイライト (2022年9月1日～2023年8月31日)

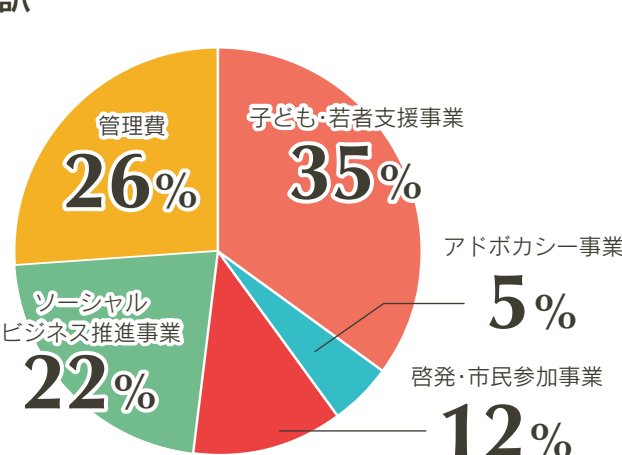
## 財務状況の分析

当期は、経常収益が1億4486万円(予算比95%)、経常費用が1億4816万円(予算比97%)となり、当期経常増減額は330万円の赤字となりました。東京マラソン2024チャリティの寄付額が大幅に増加したことや、クラウドファンディングで1500万円の目標を達成したことにより、計画を上回る寄付収入を得ることができました。しかしながら、助成金を獲得できなかったことなどから当期正味財産増減額はマイナス337万円となりました。今後も引き続き、財務の安定化を図る必要があります。

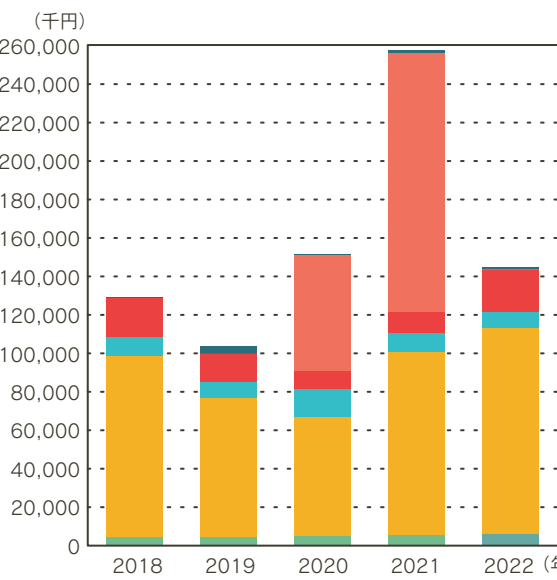
## 収入内訳



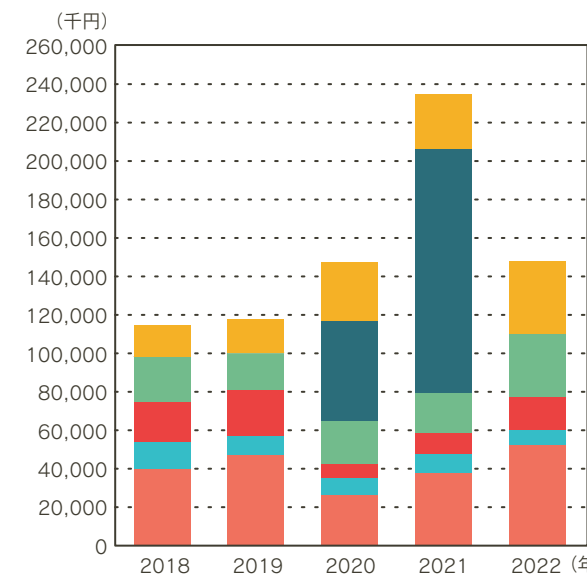
## 支出内訳



## 収入の推移



## 支出の推移



## 活動計算書

科目	金額
<b>I 経常収益</b>	<b>144,865,923</b>
1 受取会費	5,942,000
2 受取寄付金	107,429,352
3 受取助成金等	8,338,197
4 事業収益	22,146,748
5 その他収益	1,009,626
<b>II 経常費用</b>	<b>148,166,139</b>
1 事業費	110,399,803
人件費	44,210,193
その他経費	66,189,610
2 管理費	37,766,366
人件費	22,910,834
その他経費	14,855,502
<b>当期経常増減額</b>	<b>-3,300,216</b>
<b>III 経常外収益</b>	<b>0</b>
<b>IV 経常外費用</b>	<b>0</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b>	<b>-3,300,216</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>70,000</b>
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>-3,370,216</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>39,446,127</b>
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>36,075,911</b>

# ご支援いただいたみなさま

2022年度も多くの個人・企業・団体のみならずさまざまな形でご支援をいただきました。温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



## 個人会員・寄付

正会員120人 賛助会員52人 子どもの権利サポーター498人 一時寄付811人

## 法人会員 40社・団体

アイティール・リーダーズ株式会社 | アシックスユニオン | 株式会社UPDATER | 株式会社アバンティ | 株式会社イケヒコ・コーポレーション | 井関産業株式会社 | 江崎グリコ株式会社 | SUI小ACEを支援する会 | MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 | LRQAサステナビリティ株式会社 | 株式会社オウルズコンサルティンググループ | OrangeOne株式会社 | 小林メリヤス株式会社 | 株式会社小宮コンサルティング | SATURDAYS | 山陽製紙株式会社 | 株式会社シンゾーン | 株式会社新藤 | 株式会社Stella Sea Fibers | 株式会社セレスポ | 仙台ACE支援書道教室 | 仙台児福会同窓会 | ダイナメティックジャパン株式会社 | 高島屋労働組合 | タキヒヨー株式会社 | 株式会社立花商店 | つると合同会社 | 特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス | 日本食品関連産業労働組合総連合会(フード連合) | 日本生活協同組合連合会 | 株式会社ビーンズ | 株式会社ワードリボン | 不二製油株式会社 | 不二製油グループ本社株式会社 | 社会保険労務士法人改正研究所 | みちのくポテトクラブ | 森永製菓株式会社 | 株式会社ヤマグチマイカ | 有楽製菓株式会社 | UAゼンセン

## 法人寄付 69社・団体

森永製菓株式会社 | 有楽製菓株式会社 | 株式会社フェリシモ | 株式会社大和証券グループ本社 | 株式会社UPDATER | 株式会社神奈川ナブコ | 株式会社サンウェル | 日本教職員組合 | 株式会社大丸松坂屋百貨店 | アイティール・リーダーズ株式会社 | 株式会社ジャパタイムズ | 大和アセットマネジメント株式会社 | 株式会社ファンケル | 株式会社立花商店 | 株式会社セールスフォース・ジャパン | 東京八王子ロータリークラブ | 株式会社マエザワ | 株式会社Stella Sea Fibers | 株式会社フクイ | ショコラティエ | バレド オール/株式会社オヴアルリイゾン | つると合同会社 | 京都インターナショナル株式会社 | 株式会社アクティオ | 株式会社ウィルウェイ | 株式会社アバンティ | ジェレックス・コーポレーション株式会社 | 公益財団法人社会貢献支援財団 | KMバイオロジクス株式会社 | ロッタデザイン株式会社 | ノートルダム女学院中学校高等学校高等部 | 医療法人社団桐友会 | 宮城学院中学校・高等学校 | 有限会社チレンジ・エージェント | 株式会社ロッタ | 株式会社メディアファースト | 特定非営利活動法人WE21 ジャパン都筑 | 特定非営利活動法人WE21 ジャパンみなみ \*紙面の都合により、5万円以上の寄付をいただいた団体・法人のみ掲載しています。

## その他の協賛・協力

江崎グリコ株式会社 | 株式会社クラウン製菓 | 株式会社オウルズコンサルティンググループ | テロイトトーマツコンサルティング合同会社 | タカシマヤ粒のぶどう基金 | 一般社団法人LIFE IS ROSE | 太子町立太子中学校 | ブックオフコーポレーション株式会社 | Brand Pledge | 買取大吉モノ/募金 | ZERO PC | 株式会社デジタルキューブ

## 助成金

日本労働組合総連合会 連合・愛のキャンパ | 大和証券グループ未来応援ボンド | こども支援団体サステナブル基金 | 庭野平和財団2022年度/2023年度 | 一般財団法人テロイト トーマツ ウェルビーイング財団 2022年度 Societal Well-being 助成枠 | 大東建託グループ みらい基金2022/2023 | 中小企業基盤整備機構 特別利子補給助成金

# ACEの支援方法と使途について

認定NPO法人であるACEへのご寄付や賛助会費は税額控除や寄付金控除の対象となります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 会員

### 正会員

ACEの事業と組織運営全体をご支援いただけます。正会員は総会の議決権を持ち、組織運営に参加いただけます。  
・一般 1万2,000円  
・子ども・学生 6,000円

### 賛助会員

賛助会員(個人、企業、非営利団体)には議決権はありません。  
・個人 1口6,000円  
・企業 サポーター 1口5万円～  
ブロンズサポーター 1口10万円～  
シルバーサポーター 1口30万円～  
ゴールドサポーター 1口50万円～  
プラチナサポーター 1口100万円～  
・労働組合・その他非営利団体  
サポーター 1口3万円～  
ブロンズサポーター 1口6万円～  
シルバーサポーター 1口18万円～  
ゴールドサポーター 1口30万円～  
プラチナサポーター 1口60万円～

## 寄付

・子どもの権利サポーター  
1,000円以上の任意の金額を毎月ご寄付いただく制度です。寄付は国内外の各事業に使われます。  
・ACE募金  
児童労働をなくすための国内外の活動に使われる募金です。  
・チョコ募金  
カカオ生産地域での児童労働をなくすための活動に対する募金です。  
・コットン募金  
コットン生産地域での児童労働をなくすための活動に対する募金です。(新規受付停止中)  
・チャイルドフレンドリー募金  
海外および日本での子ども・若者支援活動に使われる募金です。

\*寄付の2割は事業を支える管理費に充当させていただきます。

## 基金

・世界の子ども権利基金  
NPO法人化5周年を記念し設立した基金です。周年事業の実施、新規事業や組織基盤の強化に使われます。

# 私たちが応援しています！



ACEさんの活動は真つすぐで、情熱的で、地に足がついています。そして、ACEの皆さんは、人に寄り添い、ひとを敬い、ヒトを引き付けます。弊社の伴走者もACEさんの活動に巻き込んで頂き少しずつ専門家としての幅を広げているように感じます。人材育成の場を頂き有難うございます。これからも、ACEさんと同じ目線でモノを考え実践できる専門家であられるように我々自身も頑張っていきます。今後とも宜しくお願い致します。

吉川玄徳さん  
一般財団法人テロイト  
トーマツ ウェルビーイング財団 代表理事



私には三人の子どもがいますが、当たり前のように学ぶことができている。でも世界にはその当たり前が当たり前ではない子どもたちがたくさんいることを知りました。それからは自分が走ることでも世の中が良くなればと思い、2020年からACEのチャリティーランナーをはじめました。講演などでACEの活動と、私がチャリティーランナーであることをお話することで、たくさんの方に寄付をいただいています。多くの方に現状を知ってもらい、皆さんの思いと一緒に頑張りたいと思います。

大村 信夫さん  
片付けババ(講演家、国家資格キャリアコンサルタント)



長年の地道な活動によってさまざまな成果を出しているACE。この言わば木や枝葉が育ち実がなっているのは、目には見えない根や土壌に対して妥協することなく時間や労力をかけているからこそ。例えば、個人のパーパス明確化、内省力やコミュニケーション力の向上、関係性の醸成や組織構造の進化など。つまり、そこで働く人や組織そのものをとても大切にされている。そんなACEのファンとして、これからも支え、応援続けます！

石井宏明さん  
NexTreams合同会社 共同代表  
子どもの権利サポーター

保育士として長年、子供の成長に関わらせてもらい、一昨年、孫の誕生をきっかけに、どの子ども健康で生き生きと成長してほしい。世界のどこにいても一人ひとりお子さんは、かけがえのない大切な存在という気持ちが強くなってきた時に、児童労働の事を新聞で知ったことがきっかけとなりました。

多くの人が幸せを感じる未来を作るために子どもの教育が一番大事と思うから。

寄付者のみなさまの声 - 寄付のきっかけ、教えてください -

私自身高校生で、いかにこの環境が恵まれているのかと思ったときに、少しでも手助けがしたいと思い申し込みました。

近頃海外で大きな災害が起こり助けを必要としている人の存在を改めて認識したことや、日頃SNSを利用する中で充実した教育を受けることはとても重要だと感じる場面が多くあることなどから、自分ができることはないかと子どもの教育のために寄付できる子どもの権利サポーターに申し込みました。

# 組織概要



## 特定非営利活動法人 ACE

〒110-0005  
東京都台東区上野六丁目1番6号  
御徒町グリーンハイツ1005号  
\*全スタッフ在宅勤務のため、こちらにACEスタッフはおりませんので、訪問はご遠慮ください。

TEL 03-3835-7555 FAX 03-3835-7601  
(受付 | 平日 10:00 ~ 17:00)

## 設立 / 認証年月日

1997年12月1日 設立  
2005年8月8日 東京都よりNPO法人に認証  
2010年3月31日  
国税庁より認定NPO法人として認定  
2015年1月19日  
東京都より認定NPO法人として認定  
2020年4月28日  
東京都より認定NPO法人として認定

## 事業内容

子ども・若者支援事業  
アドボカシー事業  
啓発・市民参加事業  
ソーシャルビジネス推進事業

## 受賞歴

・第6回ジャパンSDGsアワード「SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞」(2023)  
・第2回 The Japan Times Satoyama & ESGアワード「特別賞」(2020)  
・第8回若者力大賞「ユースリーダー支援賞(団体部門)」(2017)  
・平成26年度「消費者教育教材資料表彰」最優秀賞、平成27年度同優秀賞(2016)  
・第5回エクセレントNPO大賞「市民賞」(2016)  
・第4回日経ソーシャルイニシアチブ大賞「国際部門賞」(2016)  
・NGO組織強化大賞「女性スタッフの登用・活躍部門賞」(2016)

\*直近の主な受賞を記載しています。

## スタッフ

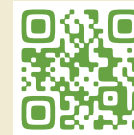
職員 15名(正職員 9、短時間正職員 3、契約職員 3)、業務委託 3名、インターン 1名

## 役員

理事 8名	岩附 由香 小林 裕
	白木 朋子 新谷 大輔
	宮本 聡 丹羽 真理
	羽生田 慶介 山下 みほこ
監事 2名	大石 貴子 矢崎 芽生

\*体制は2023年8月時点

## 各メディアにて情報発信しています。



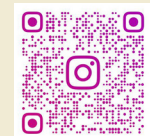
website  
www.acejapan.org



X (旧 Twitter)  
@ace\_japan



Facebook  
@acejapan



Instagram  
@npo\_ace\_japan



YouTube



LinkedIn ACE